

思い出深い、音羽村

No. 25



説明

以前は今の場所より東の方向の古橋に近い山沿いの谷にあったそうです。しかし明治のはじめごろ、水害により、死者がでたりしたために、水害の被害からのがれるために今の場所に移り住んだそうです。村が移動するために、村人が協力して一軒ずつばらして、運び建て直したそうです。昔の村の跡地をいまでも見ることができるそうです。今ある音羽の場所は、杉野川が湾曲している岩盤の上であり、国道もその岩盤を削ってできています。

昔は祭りが年に3回、灯明祭、おこないなどがあったそうですが、今は高齢化により形だけ行われています。平成12年から地域には学校へ通う子どももなく、最大で25軒ほどあった音羽村ですが、今では7軒になりました。100人以上いた人も13人になり、60歳以上がほとんどだそうです。

最近国道の拡幅工事があり八幡神社が移動し、道路にかかる橋も撤去されるそうです。音羽村の農園で中学生がそばの種をまいて育てた農園もあります。この音羽村の現状を知るとは、将来の杉野を考えることにつながっていくと思いました。

選んだ理由

音羽村は高齢化が進んでいて、住んでいる人が少なくなってきました。このままでは音羽の歴史に詳しい人がいなくなり、音羽の歴史を知る人もいなくなってしまうたら、音羽があったことが忘れられるかもしれないと思い、音羽村があったことを忘れないでほしいので選びました。